

平成 29 年度政府大規模地震時医療活動訓練への参加について

平成 29 年 7 月 29 日、三重県、大阪府、兵庫県、和歌山県を被災地とする南海トラフ地震を想定し、宮城県、新潟県、滋賀県の支援を受けながら、DMAT の活動が円滑に行われるための大規模地震時医療活動訓練が実施され、卸連合会及び被災地と想定された上記 4 府県卸組合(協会)が参加した。支援を行うことを想定した上記 3 県卸組合(協会)においては、事前に当該府県から、同訓練のスキームの説明と要請を受ける任務について説明があった。前日 28 日正午に、南海トラフを震源とする大地震が発生、各府県が甚大な被害を受けたと想定。府県ごとに災害対策本部が設置され、訓練が開始された。

今回の訓練は、各府県とその卸組合(協会)または傘下会員会社との間での伝達訓練や SCU(航空搬送拠点臨時医療施設)への医薬品空箱での配送訓練を中心に進められた。

内閣府(防災担当)からの訓練の概要等は以下の通り

平成 29 年 7 月 21 日

内閣府(防災担当)

平成 29 年度 大規模地震時医療活動訓練について

1. 訓練の趣旨

南海トラフの地震を想定し、南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画(平成 29 年 6 月改定)等に基づく大規模地震時医療活動に関する総合的な実動訓練を実施して、当該活動に係る組織体制の機能と実効性に関する検証を行うとともに、防災関係機関相互の協力の円滑化を図る。

2. 訓練の概要

- 実施日 平成 29 年 7 月 29 日(土) 8 時 00 分 ～ 18 時 00 分
- 訓練想定 南海トラフ地震により、三重県、大阪府、兵庫県、和歌山県に甚大な被害発生を想定
- 参加機関 内閣官房、内閣府、警察庁、消防庁、厚生労働省(DMAT 事務局)、国土交通省、海上保安庁、防衛省、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、宮城県、新潟県、滋賀県、三重県、大阪府、兵庫県、和歌山県、関西広域連合
- 訓練場所 <航空輸送拠点臨時医療施設(SCU)等>
三重県広域防災拠点(三重県)、八尾 SCU、史跡難波宮跡、岸和田市中央公園(大阪府)、大阪国際空港(大阪府・兵庫県)、但馬空港、三木総合防災公園、南あわじ市文化体育館(兵庫県)、南紀白浜空港、コスモパーク加太、和歌山下津港(和歌山県)
<域外搬送拠点臨時医療施設(SCU)>
仙台空港、新潟空港、滋賀医科大学、滋賀県立大学